

新聞に掲載されました！

第55回研修会オホーツク国際交流のつどいの活動が掲載されました

【2010年9月3日（金）北海道新聞（オホーツク地域）】

北海道新聞

2010年（平成22年）9月3日（金曜日）

北海道新聞



浴衣姿 茶道優雅に

丸瀬布 病院で留学生が体験

【遠軽】オホーツク 部義次会長）のホーム
国際交流センター（渡）ステイ事業で、遠紋地



お茶と和菓子を患者に振る舞う浴衣姿の留学生

区に滞在中の外国人留
学生が2日、丸瀬布厚
生病院（平山典保院長）
で茶道を体験した。
都内の大学に通う中
国や台湾、ベトナムか

らの留学生15人が1日
から7日まで、遠軽や
紋別、佐呂間に滞在し、
地元住民と交流を重ね
る。

茶道体験は、日本文
化の体験と患者との交
流を図るため、留学生
を受け入れている平山
院長が企画した。

この日は中国出身の
男女5人が参加。丸瀬
布で茶道教室を主宰す
る千葉和江さんらの指
導を受けながら、お茶
をたてたり、和菓子を
患者に振る舞ったりし
た。

（野口洸）

1 15821号 日曜・祝日翌日休刊 1945年5月1日第3種郵便物認可

定価 1か月1,400円（本体1,334円）1部売り60円 ©遠軽新聞社 2010（日刊）

えんしん
ATM定期預金
商品内容等、くわしくは窓口へお問い合わせください。
6月
遠軽信用金庫 <http://www.shinkin.co.jp/engaru/>

遠軽新聞
The Engaru Shimbun

2010年（平成22年）
9月 3 日
金曜日
発行所 北海道紋別郡遠軽町
西町1丁目 〒099-0428
遠軽新聞社
☎0158-42-1211
FAX 0158-42-1212



町を表敬訪問 町長が歓迎

遠軽・アジアから8人の留学生

町本所を表敬訪問したアジアからの留学生ら

【遠軽】オホーツク国際交流センター（渡部義次会長）は1日から、遠軽町、佐呂間町、紋別市の3市町で、アジア各国から首都圏の大学などに留学している学生15人を迎える「ホームステイ in 北海道」をはじめ、初日は遠軽町内3地域にホームステイする8人が町本所を訪れ、佐々木修一町長を表敬訪問した。

共立国際交流奨学財団（東京）との共催で、今年で28回目。首都圏の大学や語学学校などで学ぶ中国、台湾など各国出身の留学生が参加している。

遠軽町では、遠軽地域に3人、丸瀬布、白滝地域にそれぞれ2人がホームステイする。町本所には、8人がホストファミリーと訪問。学生らは一人ずつ自己紹介。佐々木町長は「自然が豊かな遠軽町を存分に満喫してほしい」と歓迎した。

国士館大学に通う佐藤（シン・シユウケイ）さん（23）は中国、姜佳慧（キョウ・ケイ）さんは（23）は同1の2人は「初めての北海道で自然が豊かで空気がおいしく感じました。滞在先の家族の人たちと楽しく過ごし、蟹や魚など海の幸を楽しみたい」と話した。

留学生らは、7日まで滞在し、今後ホームステイ先の地域の小中学校や観光施設などを訪問し、4日に佐呂間町で開く親善交流会に出席する予定。

えんしん
ATM定期預金
商品内容等、くわしくは窓口へお問い合わせください。

6%
遠軽信用金庫 <http://www.shinkin.co.jp/engaru/>

遠軽新聞
The Engaru Shimbun

2010年(平成22年)
9月 5 日
日曜日
発行所 北海道紋別郡遠軽町
西町1丁目 〒099-0428
遠軽新聞社
☎0158-42-1211
FAX 0158-42-1212

丸瀬布厚生病院で

病院で“一服” 留学生も体験

【遠軽】丸瀬布厚生病院（平山典保院長）は2日、同病院内で恒例のお茶会を開いた。入院患者とアジアからの留学生がお茶を楽しんだ。

入院患者の気分転換にと、毎年夏と冬に開催。丸瀬布で茶道教室「千葉社中」を主宰する千葉和江さんと門下生がお茶をたてた。

オホーツク国際交流の事業で、町内3地域にホームステイするアジアの留学生5人も参加した。

和装姿の留学生は、患者にお茶や菓子運んだほか、持てなしの作法などを学んだ。中国出身の朱萱（シュ・ゲン）（20）さんは「日本の伝統文化を体験できてうれしいです。奥が深くとても良い文化だと思いました」と話した。

平山院長は「患者さんや留学生に楽しんでもらってうれしいです」と話していた。

入院患者にお茶を振る舞う留学生ら





＝山脈を訪れた王くん(右)と王さん＝



＝指導を受けながらお茶を振る舞う留学生＝

流暢な日本語で自己紹介 在日留学生2人が山脈を訪れる

オホーツク国際交流センター（渡部義次会長）主催の「2010夏のオホーツク国際交流のつどい」に参加し、丸瀬布のホストファミリーで滞在中の在日留学生が9月2日、山脈文化協会の事務所を訪れました。

訪れたのは王克偉くん（中国山東省）と王山典保宅さんと、潘雯雯さん（中国山東省）と石井英治宅さんの2人で、王くんは国士館大学の3年生、潘さんは同大学の4年生。

今回の「つどい」に参加した目的について、王くんは「地域の皆さんとよく交流し、北海道

の生活様式や文化を学びたい」と、また潘さんは「空

気や景色がきれいな北海道へ来るのが夢でした。ホームステイさせてもらって、日本の家族の生活を体験したい」と、流暢な日本語で話してくれました。

同留学生は9月1日から7日までホストファミリーの一員として生活し、役場や学校、保育所への訪問や児童生徒とのスポーツ交流を楽しみました。

留学生が 茶道を体験

オホーツク国際交流センターの「国際交流のつどい」に参加



発行所 山脈文化協会
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布
☎ 0158-47-2630
月3回発行 月額650円
(第2、第3、第4日曜日発行)

新刊図書(学習館)

★一般図書

ひそやかな花園 角田 光代
昭和質店の客 佐江 衆一
あんじゅう 宮部みゆき
猫物語 西尾 維新

★児童図書

うちの3姉妹 13巻

寄贈

◎生涯学習館へ

◇水谷町 工藤 寿子 様

◇中 町 文庫本ほか全15冊

◇中 町 小山 琴美 様

文庫本ほか全20冊